

政策名	4環境にやさしい港		責任者	企画調整室 環境担当課長	連携担当課 (港営部)海務課 (建設部)港湾工事事務所
基本施策名	05人と自然にやさしい港湾環境づくり				
個別施策名	17良好な港湾空間を維持・創出する				
事務事業名	08大江川、7・8号地間運河の監視		連絡先	052-654-7819	

1 PLAN(目的・概要)

目的	大江川、7・8号地間運河の水質やアスファルトマットの状態を把握し、異常があった場合にすみやかに対応します。	事業期間	昭和63年度～継続
概要	公害防止事業により敷設されたアスファルトマットの状態を目視、潜水夫及び音響測深機等によって点検を行うとともに、年4回定点にて採水し有害物質等の調査を実施します。	根拠法令・要綱等	大江川河口域及び7・8号地間運河の底質監視計画ならびに対策指針
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・「大江川河口域及び7・8号地間運河の底質監視計画並びに対策指針」に基づき、名古屋市環境局と協力して底質監視及び潜水士(夏季)や音響測深機を使ったアスファルトの点検(冬季)と年4回(5月、8月、11月、2月)の水質調査を実施しました。 ・22年度調査においては異常は認められず、結果については上記指針に基づき名古屋市環境局に報告しています。 ・23年度も同じ内容で実施します。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
アスファルトマットの点検回数	単位	目標	2	2	2	2	2	2	指針に定められたアスファルトマットの点検回数
	回	実績	2	2	2				
水質調査実施状況	単位	目標	4	4	4	4	4	4	指針に定められている調査回数
	回	実績	4	4	4	4			
事業費	千円	0	0	0	1,281	1,281			
人員	正規職員	人	0.60	0.60	0.60	0.23	0.18		
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円	5,211	5,262	5,149	1,951	1,578			
事業費・人件費の合計	千円	5,211	5,262	5,149	3,232	2,859			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)			
異常個所の発見状況	単位	目標	0	0	0	0	0	0	異常個所があり、補修等の改善措置をした回数			
	回	実績	0	0	0	0						
	達成度○/×	○	○	○	○							
	単位	目標										
		実績										
	達成率(%)											
観点	課題の有無	現状の「見える化」						その他特記事項				
必要性	組合関与の必要性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	・本組組合が関与すべき必要性があります。 ・名古屋市との対策指針により実施内容が定められています。									
	目的・水準の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無										
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	・22年度の達成度は100%であり、進捗は図られています。 ・活動内容は、事務事業の目的の成果に結びついています。									
	成果の達成度	有・ <input checked="" type="radio"/> 無										
効率性	実施主体の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	・水底質調査の委託化により、業務の効率化を図りながら、事業を継続していきます。									
	受益者負担の適正性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無										
	経済性	<input checked="" type="radio"/> 有・無										

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	継続的に取り組む必要があるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
引き続き、業務の効率化を図りながら、事業を継続していきます。			